



各学校 今年度の成果

早春の候、地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日ごろより長瀬町教育行政及び各学校における教育活動の推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、今年度のめざす学校像は、長瀬第一小学校が「まごころを尽くし合い、みんな仲良く、たゆまず学び続ける、元気あふれる学校」、長瀬第二小学校が「一人一人が笑顔でいきいきと輝く元気な学校」、長瀬中学校がふるさとへの誇りと高い志を持つ生徒が溢れる学校―生徒一人ひとりが輝く教育の追求―でした。

この一年、各学校はめざす学校像達成に向けて、様々な取組を行ってきました。長瀬町の各学校は、それぞれの学校でそれぞれ大きな成果をあげることができました。

今回は、各学校の今年度の取組の様子を紹介します。

長瀬町立長瀬第一小学校の取組

本校では目指す学校像「まごころを尽くし合い、みんな仲良く、たゆまず学び続ける、元気あふれる学校」を実現するため3つの重点目標を掲げ教育活動を進めてまいりました。以下、重点目標別の主な取組を紹介いたします。

1 【深く考える子】

全ての子供たちの可能性を引き出す学びを実現するため「教え、考えさせ、見届ける指導の徹底」を意識した授業改善に取り組みました。また、「ICTを活用した授業改善」を研究主題に掲げ、ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた1人1台端末の効果的活用の研究を進めています。



2 【心豊かな子】

児童数が減少するなか、リーダーとしての態度の育成や多様な人間関係の構築を目指し、縦割り班活動の充実を図りました。今年度の新たな取組である「たてわり清掃」では、異年齢の子供たちがお互いに助け合い、協力し合いながら、校内美化に努める姿が見られます。また、第二小学校との交流学习も始めています。



3 【たくましい子】

行動体力の向上はもちろん、防衛体力を高める望ましい食習慣の確立と学校健康診断後の受診率向上に取り組みました。特に食育では、全学級において栄養教諭と連携した指導を実施しました。



長瀨町立長瀨第二小学校の取組

1 確かな学力の定着のための取組

算数科を中心に、「長瀨町小・中学校学力向上のための共通テーマ」の視点に沿った授業改善を行った。わかりやすい授業を展開することで、児童の学習意欲が増し、学力向上へとつながった。



2 やさしさと規律ある態度の育成のための取組

縦割り班活動や道徳教育・人権教育等、児童の心を耕す取組を年間を通じて行うことで、児童の自己肯定感・自己有用感を高めることができた。



3 体力向上と健康・安全な生活のための取組

体育の授業や業間運動の充実・外遊びの励行等により、児童の体力が向上した。保健学習や安全指導の徹底により、健康・安全への意識を高めることができた。



4 家庭・地域と連携した取組

学校応援団の方を中心とした地域住民の方にご協力いただき、交流する中で、豊かな体験活動をすることができた。



長瀨町立長瀨中学校の取組

本年度の教育活動の成果

本校は、今年度、様々な体験活動を積み重ねることで、目指す学校像の具現化に取り組んできた。以下、おもな取組とその成果を紹介する。

1 体育祭

・例年通り5月に実施した。生徒を赤団、青団の2色に色分けし、それぞれ3年生が団長、副団長となって自主的に取り組めた。様々な場面で上級生が下級生を指導することで伝統を継承できている。本行事を通して、学級への所属感や連帯感が深まり、主体性やコミュニケーション能力が高まった。

2 文化祭

・例年通り9月に実施し、学級単位で演劇を創作、発表を行った。1学期から構想を練り始め、役者、背景画製作、照明、小道具等の担当に分かれ、夏季休業も活用して練習に励み、当日を迎えた。

「伝統の文化祭」と言われるように質が高い。自己肯定感や「伝える力」の育成につながった。

3 1年「長瀨校外学習」、2年「職場体験学習」、3年「保育実習」、全学年「自分で作るお弁当の日」

・1年生の体験は「ラフティング」と「まが玉作り」である。2年生の職場体験は3年ぶりの実施となった。3年生は2学期に毎年「高砂保育園」で実習をお世話になっている。いずれも「地域の教育資源」を活用しての体験活動で、思いやり等、生徒の豊かな心の育成に大きな役割を果たせた。「自分で作るお弁当の日」は、家庭との連携が必要不可欠で家族への感謝や食生活への理解が深まった。

※上記以外でも、3年修学旅行、2年林間学校、1年東京ツアーズ、夏休みボランティアや国道沿い花植ボランティア等の体験活動を実施し、ふるさとへの誇りと高い志を持てる生徒の育成につながられた。